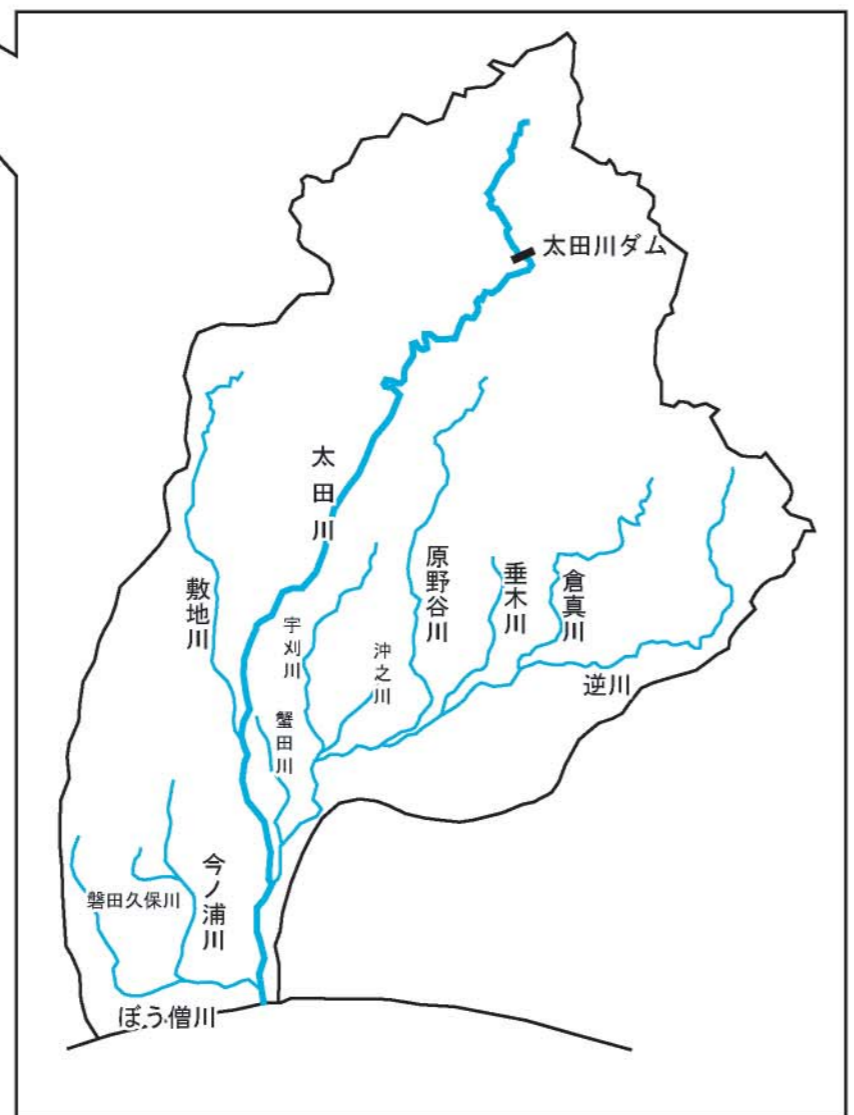
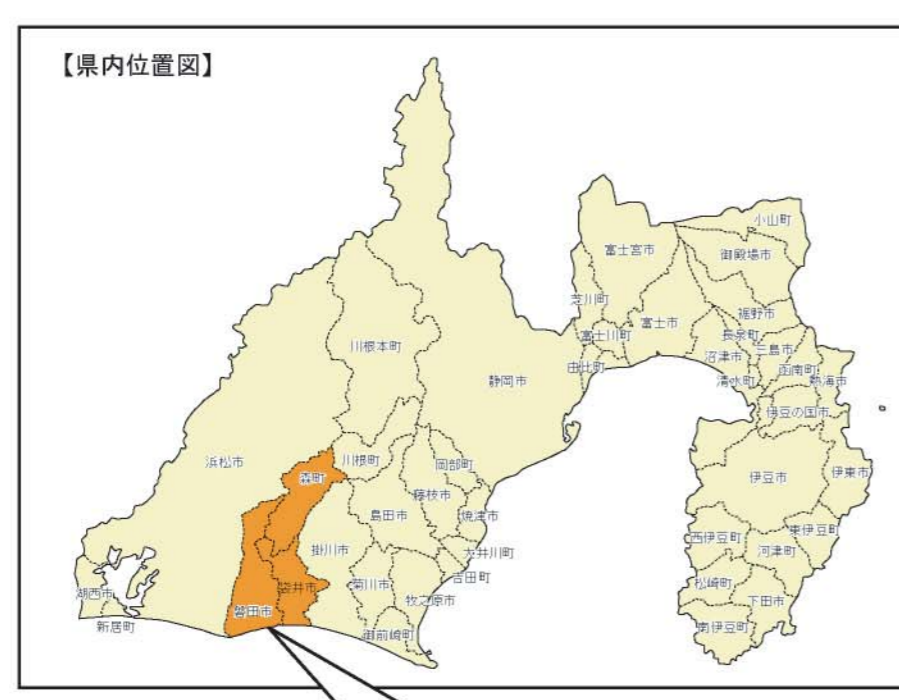
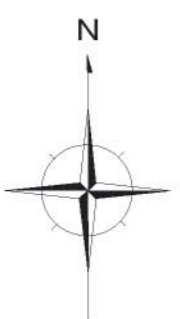
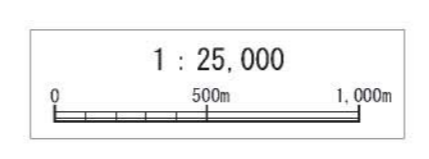


# 太田川水系（ぼう僧川・敷地川・今ノ浦川・磐田久保川）浸水想定区域図



1. 説明文
- この図は太田川水系ぼう僧川、敷地川、今ノ浦川、磐田久保川について、平成18年3月時点の河川の整備状況等を勘案して、洪水防部の基本となる降雨である概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、ぼう僧川、敷地川、今ノ浦川、磐田久保川がはん濫した場合に想定される浸水想定区域と当該区域が浸水した場合に想定される水深、その他を示したものです。
  - このシミュレーションの実態に当たっては、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項等
- 作成主体 静岡県
  - 指定年月日 平成21年4月1日
  - 告示番号 静岡県告示第369号
  - 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条
  - 対象河川 二級河川太田川水系ぼう僧川：太田川合流点から約6.6km  
二級河川太田川水系敷地川：太田川合流点から約8.3km  
二級河川太田川水系今ノ浦川：ぼう僧川合流点から約7.9km  
太田川流域の24時間雨量365.1mm  
（概ね50年に1回程度の降雨：H13 太田川水系河川整備基本方針）
  - 関係市町 磐田市
  - その他計算条件等
    - はん濫計算は、対象区間を50m間隔の格子（「計算メッシュ」という）に分割し、これを1単位として、水深を計算しています。
    - 計算メッシュの地盤高は平成12～17年の1/2500地形図の標高点から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形やその後の開発による地盤高の変化による影響が表せていない場合があります。
    - 浸水想定区域や等深線は、はん濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性を1/2500地形図上の地形、連続舗装構造物（道路及び鉄道の盛土など）を考慮して図化しています。
  - その他
    - 静岡県では、洪水等に対する防災対策として、雨量、水位情報等を集約したサイボスリーダーを公表しています。インターネット、携帯電話から情報を入力できますので、防災情報の把握、天気予報等にお役立て下さい。
- 【アクセス方法】
- インターネットURL <http://sipos.shizuoka2.jp> <http://sipos.pref.shizuoka.jp>  
 インターネットURL <http://sipos.shizuoka2.jp/i/> (NTTDOCOMO H-MODE)  
<http://sipos.shizuoka2.jp/ez/> (au, TU-KA, EZweb)  
<http://sipos.shizuoka2.jp/v/> (Vodafone, Vodafone level)



凡 例	
	浸水した場合に想定される水深（ランク別）
（黄色）	0.5m未満の区域
（黄緑）	0.5m～1.0m未満の区域
（浅青）	1.0m～2.0m未満の区域
（中青）	2.0m～3.0m未満の区域
（深青）	3.0m～4.0m未満の区域
（紫）	4.0m以上の区域
（赤線）	浸水想定区域の指定の対象となる河川
（黒線）	市町村界

